



Cisco HX ストレージ クラスタのモニタリング

- [HyperFlex クラスタのモニタリング \(1 ページ\)](#)
- [HX Connect を使用した HyperFlex クラスタのモニタリング \(1 ページ\)](#)

HyperFlex クラスタのモニタリング

この章では、HX ストレージ クラスタ 次のインターフェイスを通じて利用できるモニタリングの内容について説明します。

- Cisco HX 接続
- Cisco HX データ プラットフォーム プラグイン
- ストレージ コントローラ VM コマンドライン

HX Connect を使用した HyperFlex クラスタのモニタリング

Cisco HX 接続 ユーザー インターフェイスは、HX ストレージ クラスタ のステータス、コンポーネント、および機能のビューを提供します。

主要なモニタリング ページには、ローカルの Cisco HX ストレージ クラスタ に関する情報が含まれています。

- **[ダッシュボード (Dashboard)]** : Cisco HX ストレージ クラスタ ステータスの概要です。
- **[アラーム (Alarms)]**、**[イベント (Events)]**、**[アクティビティ (Activity)]** : 詳細については、Cisco HyperFlex システム トラブルシューティング ガイドを参照してください。
- **[パフォーマンス (Performance)]** : IOPS、スループット、遅延、およびレプリケーション ネットワーク 帯域幅のグラフ
- **[システム情報 (System Information)]** : システムの概要、およびノートとディスクに関するステータスとタスク。

サポートバンドルの生成については「Cisco HyperFlex システム トラブルシューティングガイド」を、メンテナンスモードの開始と終了については「[ストレージクラスタ メンテナンス操作の概要](#)」を、ノードまたはディスク ビーコンの設定方法については「[ビーコンの設定](#)」を参照してください。

- [データストア (Datastores)] : データストアのステータスと関連タスク。


[アップグレード (Upgrade)] ページは、HX データ プラットフォーム アップグレードタスクへのアクセスを提供します。


[ダッシュボード (Dashboard)] ページ



重要 読み取り専用ユーザの場合は、ヘルプに記載されているすべてのオプションが表示されないことがあります。HyperFlex (HX) Connect では、ほとんどのアクションの実行に管理者権限が必要です。

HX ストレージクラスタのステータスの概要が表示されます。これは、Cisco HyperFlex Connect にログインすると最初に表示されるページです。

UI 要素	基本的な情報
[動作ステータス (Operational Status)] セクション	<p>HX ストレージクラスタの機能ステータスとアプリケーションパフォーマンスが表示されます。</p> <p>[情報 (Information)] () をクリックして、HX ストレージクラスタ名とステータス データにアクセスします。</p>
[クラスターライセンスの状態 (Cluster License Status)] セクション	<p>HX ストレージクラスタに初めてログインしたとき、または HX ストレージクラスタ ライセンスが登録されるまでに、次のリンクが表示されます。</p> <p>クラスターライセンスが登録されていないリンク : HX ストレージクラスタが登録されていない場合に表示されます。クラスターライセンスを登録するには、このリンクをクリックし、[スマートソフトウェアライセンス製品登録 (Smart Software Licensing Product Registration)] 画面で製品インスタンス登録トークンを指定します。製品インスタンス登録トークンを取得する方法の詳細については、『Cisco HyperFlex システムインストールガイド』の「スマートライセンスへのクラスタの登録」セクションを参照してください。</p>

UI 要素	基本的な情報
[復元力ヘルス (Resiliency Health)] セクション	<p>HX ストレージクラスタのデータヘルスステータスと耐障害性が表示されます。</p> <p>[情報 (Information)] () をクリックして復元カステータスと、レプリケーションおよび障害データにアクセスします。</p>
[容量 (Capacity)] セクション	<p>ストレージ合計の内訳と使用中または未使用のストレージ容量が表示されます。</p> <p>また、ストレージの最適化、圧縮による節約、およびクラスタに格納されているデータに基づく重複排除比率も表示されます。</p>
[ノード (Nodes)] セクション	<p>HX ストレージクラスタにおけるノード数とコンバージドノード対コンピューティングノードの区分が表示されます。ノードアイコンの上にカーソルを合わせると、ノードの名前、IP アドレス、ノードタイプが表示されます。また、容量、使用率、シリアル番号、およびディスクタイプデータにアクセスできるディスクがインタラクティブに表示されます。</p>
[パフォーマンス (Performance)] セクション	<p>設定可能な時間の HX ストレージクラスタのパフォーマンススナップショットが表示され、IOPS、スループット、および遅延データが示されます。</p> <p>詳細については、[パフォーマンス (Performance)] ページを参照してください。</p>
[クラスタ時間 (Cluster Time)] フィールド	クラスタのシステム日時。

テーブルヘッダーの共通フィールド

HX Connect 内のいくつかのテーブルには、テーブルに表示される内容を左右する次の 3 つのフィールドのどれかが表示されます。

UI 要素	基本的な情報
[更新 (Refresh)] フィールドとアイコン	<p>HX クラスタの動的更新では、テーブルが自動的に更新されます。タイムスタンプは、テーブルが最後に更新された時刻を示します。</p> <p>コンテンツを今すぐ更新するには、円形アイコンをクリックします。</p>

UI 要素	基本的な情報
[フィルタ (Filter)] フィールド	<p>入力したフィルタ テキストと一致するリスト項目のみがテーブルに表示されます。以下の表の現在のページに一覧表示されている項目は自動的にフィルタ処理されます。入れ子になったテーブルはフィルタ処理されません。</p> <p>[フィルタ (Filter)] フィールドに選択テキストを入力します。</p> <p>[フィルタ (Filter)] フィールドを空にするには、x をクリックします。</p> <p>テーブル内の他のページからコンテンツをエクスポートするには、下部までスクロールし、ページ番号をクリックしてフィルタを適用します。</p>
[エクスポート (Export)] メニュー	<p>テーブルデータの現在のページのコピーを保存します。テーブルコンテンツは、選択したファイルの種類でローカルマシンにダウンロードされます。リストの項目をフィルタ処理すると、フィルタ処理されたサブセット リストがエクスポートされます。</p> <p>エクスポート ファイルの種類を選択するには、下向き矢印をクリックします。ファイルの種類オプションは、csv、xls、および doc です。</p> <p>テーブル内の他のページからコンテンツをエクスポートするには、下部までスクロールし、ページ番号をクリックしてエクスポートを適用します。</p>

[アクティビティ (Activity)] ページ

HX ストレージクラスタ上の最近のアクティビティのリストを表示します。これにより、VM の動作、クラスタのアップグレード/拡張、およびメンテナンス モードの開始/終了の進捗状況をモニタできます。

UI 要素	基本的な情報
[アクティビティ (Activity)] リスト	<p>最近のタスクのリストと、次の詳細が表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • ID • 説明 • VM 電源のオン/オフ/一時停止ステータス • タスクのステータス : <ul style="list-style-type: none"> • 進行中 • 成功 • 失敗 <p>VM 電源の操作に失敗した場合は、[既存の状態 (Existing State)] フィールドと [必要な状態 (Required State)] フィールドも表示されます。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 日時スタンプ • 進捗バー <p>[アクティビティ (Activity)] リストを展開すると、タスクのステップ名とステータスが表示されます。</p> <p>コンテンツを今すぐ更新し、最近のアクティビティを取得するには、円形のアイコンをクリックします。ページは2分ごとに自動的に更新されます。</p>
[すべて展開/すべて折り畳む (Expand All/Collapse All)] ボタン	<p>ジョブ リストのビューを切り替えて、最上位のタスク情報またはタスク詳細を表示します。</p> <p>個別のタスクを展開したり折りたたんだりすることもできます。</p>

[システム情報 (System Information)] 概要ページ

ノードとディスクを含め、HX ストレージクラスタのシステム関連の情報が表示されます。また、ここから HX メンテナンス モードにアクセスできます。

HX ストレージクラスタ構成データ (HX Storage Cluster Configuration Data)

この HX ストレージクラスタの基本構成情報が表示されます。

UI 要素	基本的な情報
[HX ストレージクラスタ (HX storage cluster)] フィールド	このストレージクラスタの名前。

UI 要素	基本的な情報
[HX ストレージクラスタ (HX storage cluster)] フィールド	HX ストレージクラスタの機能ステータスが示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : クラスタは利用可能です。 • [オフライン (Offline)] : クラスタは使用可能ではありません。 • [読み取り専用 (Read Only)] : クラスタは領域外です。 • [不明 (Unknown)] : クラスタがオンラインになるまでの遷移状態。
[ハイパーバイザ (Hypervisor)] フィールド	この HX ストレージクラスタにインストールされているハイパーバイザのバージョン。
[HXDP バージョン (HXDP Version)] フィールド	この HX ストレージクラスタにインストールされているインストーラパッケージのバージョン。
[稼働時間 (Uptime)] フィールド	この HX ストレージクラスタがオンラインであった期間。
[合計容量 (Total Capacity)] フィールド	このクラスタ全体のストレージサイズ。
[使用可能な容量 (Available Capacity)] フィールド	このクラスタの空きストレージの容量。
[DNSサーバ (DNS Server(s))]	この HX ストレージクラスタの DNS サーバの IP アドレス。
NTPサーバ	この HX ストレージクラスタの NTP サーバの IP アドレス。

コントローラ VM アクセス

管理者として SSH を使用してコントローラ VM にアクセスできます。アクセスを有効にするには、ページの上にある **[Action (アクション)]** をクリックして、SSH アクセスを有効にします。

ノードデータ (Node Data)

この HX ストレージクラスタ内の各ノードに関するデータが表示されます。この情報を表形式で表示するには、**[ノード (Nodes)]** ページに移動します。

UI 要素	基本的な情報
[ノード (Node)] フィールド	このクラスタ上でのノードの名前。
[ハイパーバイザ (Hypervisor)] フィールド	この HX ストレージクラスタの管理ネットワークの IP アドレス。

UI 要素	基本的な情報
[ハイパーバイザ ステータス (Hypervisor Status)] フィールド	<ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : ノードは使用できます。 • [オフライン (Offline)] : ノードは使用できません。 • メンテナンス中 : 実行中 (および電源がオフ) になっているノードは、ホストから切断されています。 • [進行中 (In Progress)] : バックアップ ジョブが進行中です。
コントローラのアドレス	この HX ストレージクラスタのネットワーク コントローラが使用する IP アドレスです。
コントローラのステータス	<ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : VM とディスクの間の接続を使用できます。 • [オフライン (Offline)] : VM とディスク間の接続は使用できません。 • [メンテナンス中 (In Maintenance)] : VM とディスクの間の接続はホストから電源がオフになります。 • [進行中 (In Progress)] : バックアップ ジョブが進行中です。
[モデル (Model)] フィールド	このノードの物理ハードウェアのモデル番号。
[HXDP バージョン (HXDP Version)] フィールド	このノードにインストールされているインストーラ パッケージのバージョン。
[ディスク (Disks)] フィールド	このノードの永続的なディスクおよびキャッシュ ディスクの数です。

ディスクがあるノードでは、ディスクの上にカーソルを置くと、次のような情報がインタラクティブに表示されます。

ディスク

UI 要素	基本的な情報
スロット番号	ドライブの場所 (たとえば、スロット番号 2)。
ディスクのタイプ	システム、キャッシュ、または永続

UI 要素	基本的な情報
ディスクの状態	<ul style="list-style-type: none"> • 請求済み • 対応可 • 無視 • ブラックリスト • OK して削除 • 不明
ロケータ LED	ディスクを特定しやすくするためにホスト上の物理的なライトをアクティブにします。オプションは、[オン (On)]と[オフ (Off)]です。
容量	ディスク サイズの合計です。
[使用済み/総容量 (Used / Total Capacity)](永続ディスクのみ)	合計ディスク サイズに対する使用されているディスクの容量です。
シリアル番号 (Serial Number)	このディスクの物理シリアル番号です。
[ストレージ使用率 (Storage Usage)](永続ディスクのみ)	使用されているディスク ストレージの割合です。
バージョン	ディスク ドライブのバージョン。
ディスク ドライブ インターフェイス	ディスク ドライブのインターフェイスタイプ(たとえば、SAS または SATA)。

[ノード (Nodes)] ページ

表にこのHXのストレージクラスタ内のすべてのノードに関するデータが表示されます。それぞれの列 (カラム) を基準にデータをソートできます。

UI 要素	基本的な情報
[HX メンテナンス モードの開始 (Enter HX Maintenance Mode)] ボタン	このボタンにアクセスするノードを選択します。 [HX メンテナンス モードの確認 (Confirm Maintenance Mode)] ダイアログボックスが開きます。
[HX メンテナンス モードの終了 (Exit HX Maintenance Mode)] ボタン	このボタンにアクセスするノードを選択します。 すべてのメンテナンス タスクを完了した後、手動で HX メンテナンス モードを終了する必要があります。
[ノード (Node)] カラム	この HX ストレージクラスタ内のノードの名前。

UI 要素	基本的な情報
[ハイパーバイザ アドレス (Hypervisor Address)] カラム	[ノード (Node)] 列で参照されるノードの管理ネットワークの IP アドレス。
[Hypervisor Status] カラム	<ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : ノードは使用できます。 • [オフライン (Offline)] : ノードは使用できません。 • メンテナンス中 : 実行中 (および電源がオフ) になっているノードは、ホストから切断されています。 • [進行中 (In Progress)] : バックアップ ジョブが進行中です。
[Controller Address] カラム	[ノード (Node)] 列で参照されるノードの HX ストレージ コントローラ VM の IP アドレス。
[Controller Status] カラム	<ul style="list-style-type: none"> • [オンライン (Online)] : VM とディスクの間の接続を使用できます。 • [オフライン (Offline)] : VM とディスク間の接続は使用できません。 • [メンテナンス中 (In Maintenance)] : VM とディスクの間の接続はホストから電源がオフになります。
[モデル (Model)] カラム	このノードの物理ハードウェアのモデル番号。
[バージョン (Version)] カラム	HyperFlex データ プラットフォーム このノードにインストールされているインストーラ パッケージのバージョン。
[ディスク (Disks)] カラム	ノード内のディスクの数。 数値をクリックすると、選択されたノード名でフィルタリングされた [ディスク (Disks)] ページが開きます。

[ディスク (Disks)] ページ

7列のテーブルに、この HX ストレージクラスタ内のすべてのディスクに関するデータが表示されます。それぞれの列 (カラム) を基準にデータをソートできます。

UI 要素	基本的な情報
[ノード (Node)] カラム	ディスクが存在するノードの名前。

UI 要素	基本的な情報	
[スロット (Slot)] カラム	SED ドライブの場所。これは、メンテナンス作業のためにドライブを識別します。	
[容量 (Capacity)] カラム	ディスクの合計サイズ。	
[ステータス (Status)] カラム	<ul style="list-style-type: none"> • [利用可能 (Available)] : 新しく追加された、保管中データ対応のディスクの初期状態です。また、ディスクが他のいずれかの状態に移るときの遷移状態でもあります。 • [ブラックリスト登録済み (Blacklisted)] : ソフトウェアのエラーまたは I/O エラーが原因でディスクがクラスタによって使用されていないときの状態です。これは、まだ利用可能なディスクをクラスタが修復しようとしたときに [修復 (Repairing)] 状態に移行する前の遷移状態である可能性があります。 • [要求 (Claimed)] : ディスクが認識され、使用中の状態です。 • [無視 (Ignored)] : ディスクがクラスタによって使用されていない状態です。たとえば、HX コントローラ VM システム ディスク、他のデータ (有効なファイルシステムパーティション) を含むディスク、または I/O の障害が発生しているディスクです。 • [修復 (Repairing)] : ブラックリスト登録済みディスクが現在修復されている状態です。 • [削除対象 (To Be Removed)] : ディスクが RMA にスケジュールされているときの状態です。 	<p>次の状態は無視しても構いません。</p> <ul style="list-style-type: none"> • 無効 (Invalid) • 標準 • [削除済み (Removed)] : [安全に消去する (Secure Erase)] オプションを使用した後に SED ディスクが削除される時の状態です。 • タイムアウト • 不明

UI 要素	基本的な情報
[タイプ (Type)] カラム	<ul style="list-style-type: none">• 不明• [循環 (Rotational)] : ハイブリッドドライブ• [ソリッドステート (Solid State)] : SSD ドライブ
使用状況 (Usage) カラム	<ul style="list-style-type: none">• 不明• Cache• 永久的 (Persistent)
[ロケータをオンにする (Turn On Locator LED)] および [ロケータ LED をオフにする (Turn Off Locator LED)] オプションボタン	ディスクを1つ選択してオプションボタンにアクセスします。 ディスクを探すために役立つホスト上の物理光またはビーコンをアクティブ化または非アクティブ化します。

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。